

新しい鳥羽観光を目指して

市では、平成20年1月に、鳥羽観光の目標（目指すべき観光地像）を鳥羽市観光基本計画として示しました。

この基本計画に基づき、平成21年3月に、事業計画（アクションプログラム）を定め、平成21年7月には、鳥羽市初の観光課が発足し、市民のみなさんや関係機関と協力して、取り組みを始めています。

今回は、新たな取り組みとして開始したアクションプログラムの現状についてご紹介します。

観光課観光企画係 ☎ 25 1 1 5 5

▶ アクションプログラムとは

観光基本計画に掲げられた目標を着実に実現していくため、優先的かつ重点的に実施すべき事業・取り組みを示したものです。

観光基本計画策定事業

鳥羽市観光基本計画アクションプログラムを効果的に推進し、「鳥羽市観光基本計画」に掲げられた目標を達成するための協議を行います。

本年度は、推進協議会を開催し、取り組み状況の報告や意見交換会、計画の見直しを行います。

広告宣伝戦略事業

広告宣伝戦略を策定し、それに沿った事業を展開することにより、費用対効果の高い宣伝PRを行います。

本年度は、委員会の開催を重ね、実証実験の結果に基づいて、戦略を策定しています。また、鳥羽をPRする手段のひとつとして動画DVDを作成しています。



市場調査事業

観光施策や観光地づくりを戦略的に進めていくための基礎資料として市場調査を行い、競争力のある魅力的な観光地を目指します。

本年度は、宿泊施設および観光客のみなさんにアンケート調査を行い、有識者を交え、データの分析・考察をした上で、「旅館・宿泊施設を元気にするプロジェクト」と題して、課題の洗い出し、基本的な方向性の確認を含めた鳥羽市観光産業活性化戦略の策定を目指し、取り組んでいます。



エコツーリズム推進協議会事業

自然・歴史・文化などの多様な観光資源を活用し、市民団体が中心となって進めているエコツアーなどのガイドツアーについて、魅力ある体験プログラムや旅行商品づくりの拡充に取り組みます。

本年度は、推進協議会の設立と鳥羽市エコツーリズム宣言の発表に向け、準備会を開催しています。



観光案内サイン（看板）整備事業



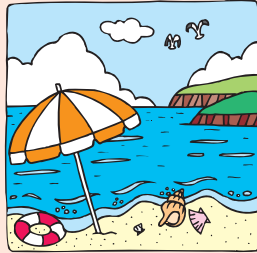
観光案内サイン（看板）について、デザインや表記の統一を図り、観光客の利便性および利用者の満足度向上を図ります。

本年度は、実態調査に基づいて基本計画の策定と基本デザインとなるサインの設置を行います。

安楽島海水浴場施設整備事業

施設の安全面・衛生面を見直し、来訪者の満足度向上と海水浴場の利用促進を図ります。

管理棟の建て替えにより、バリアフリー対応の、誰にも優しい管理棟となり、トイレ部分は、海水浴客だけでなく、加布良古崎など、周辺のウォーキング客も利用することのできる施設となります。



事業系生ゴミ再資源化システム構築事業

環境共生型（エコ）観光事業の推進を図るために、ホテル・旅館などから排出される生ゴミを堆肥化し、その堆肥で作った農作物を観光客に提供することで事業所の排出ごみ量を減量化し、循環型社会を築くことを目指します。

消防施設整備事業

地域住民および観光客の生命・身体・財産の保護を目的に、消防施設の充実を図るため、多様化・複雑化する災害に対応できる消防力の強化を計画的に進めます。

本年度は、はしご付き消防自動車を最新鋭の30m級の先端屈折型に更新します。



観光戦略アドバイス事業

専門的な知識を持つ人材によるアドバイス業務および、観光客の満足度向上を図るための各種事業を展開することで、「鳥羽市観光基本計画」を推進していきます。

本年度は、観光客のニーズや観光動向を踏まえ、新しい観光などをテーマに、研修会開催や「ちよこ得まち歩き」などの旅行商品づくりに取り組みます。

市では、これらの事業のほかに、これまで継続しているさまざまな事業にも取り組んでいます。

「鳥羽市観光基本計画」および「事業計画（アクションプログラム）」について、くわしくは市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.toba.mie.jp/kanko/kanko.htm>



休憩所ボランティアネットワーク事業

空き店舗などの活用や、民間施設から休憩場所を提供してもらうことにより、滞留拠点としての仕掛けを作ります。

本年度は、休憩場所として5か所にベンチと看板を設置し、今後、快適に歩く旅をテーマに事業を展開していきます。



地産池消の推進と新しい食の魅力創造事業

地域ならではの食材を活用した「食」の魅力を創造し、提供していくことで本市が誇る大きな資源である「食」にさらに付加価値をつけ、来訪者の満足度を向上させます。

本年度は、とばーがーに加え、鳥羽弁当の認定に取り組んでいます。



鳥羽駅ボランティアガイド事業

繁忙期に鳥羽駅での観光案内などを充実させ、観光客がスムーズに観光できるよう「心のこもったおもてなし」の向上に努めます。

本年度は、ゴールデンウィークとお盆に計7日間事業を実施し、観光客をもてなしました。

また、車いす、ベビーカーの無料貸し出しは、高齢者や子ども連れの観光客のかたに好評でした。



おもてなしトイレ整備事業

観光客の視点を含めた、公衆トイレの現状の見直しにより、便利で使いやすいトイレ整備を促進します。

本年度は、相差海女小屋体験施設に設置されるトイレ整備に補助を行うほか、安楽島海水浴場の建て替えに伴い、常設トイレを整備します。